

金融と社会（'26）

Financial Systems and Our Society('26)

主任講師名：野間 敏克（同志社大学教授）

【講義概要】

バブル崩壊後の1990年代、日本の金融システムは大混乱に陥り、その後の日本経済の長期停滞の一因と考えられている。また世界では、サブプライム問題と呼ばれる金融危機が、世界経済不況をもたらした。金融システムには、金融技術や情報通信技術の急速な進歩にともない、絶えず変革が求められている。また、それらに対応するため、当局による規制監督も絶えず見直しが迫られている。この講義では、重要性を増している金融の仕組みを学び、それが私たちの経済社会に与える影響を幅広い観点から考える。

【授業の目標】

この科目では、ダイナミックに変化する現代社会における金融の意義と公共性について考える。大きく分けて三つの目標がある。第一に金融の仕組みと機能の基礎を学ぶこと、第二に新しい金融商品や金融取引を知ること、そして第三に、それらを生活者として利用するために、新しい金融の動きを見る目を養い、経済社会に与える影響を理解することである。資産運用が大きな関心となっている高齢者、住宅ローンを抱え老後が心配な現役世代、国債や年金という負担を押しつけられそうな若年世代など、様々な方に役立つだろう。

【履修上の留意点】

放送教材による学習の前後に印刷教材による学習を行うこと。事前学習としてはシラバスや印刷教材に示されたキーワードを中心に重要な用語を把握すること。事後学習としては、放送教材の要点を抜き出してまとめること。

各回のテーマと授業内容

第1回 金融とは何か

金融取引とは何か、それにどのような特徴や課題があって、金融機関や金融市場がどう対応しているのかを解説する。また、金融取引によって何がもたらされるのか、経済全体への影響を概観し、金融システムの公共的役割について考察する。

【キーワード】

資金移転、取引費用、不確実性、情報の非対称性、金融機関、金融市場、直接金融、間接金融、リスク移転、資金循環統計

執筆担当講師名：野間 敏克（同志社大学教授）

放送担当講師名：野間 敏克（同志社大学教授）

第2回 家計と金融

家計がどのように貯蓄を決定し、それをどのような金融資産に振り分けているのかを概観する。欧米諸国と比較したときの日本の家計貯蓄の特徴を知り、人口の高齢化や経済成長の低下によってどのように変化してきたのかを紹介する。

【キーワード】

貯蓄率、資金過不足、金融資産構成、ライフサイクル、流動性制約、高齢化

執筆担当講師名：野間 敏克（同志社大学教授）

放送担当講師名：野間 敏克（同志社大学教授）

第3回 企業と金融

コーポレート・ファイナンスの基礎的な考え方を解説する。日本の企業が行ってきた資金調達を振り返り、資金調達の決定に関する理論的な考え方を学び、企業の金融行動と生産活動との関係についても考察する。

【キーワード】

企業利益、キャッシュフロー、負債と資本、企業価値、資本コスト、モディリアーニ・ミラーの定理、コーポレート・ガバナンス、利益剰余金

執筆担当講師名：野間 敏克（同志社大学教授）

放送担当講師名：野間 敏克（同志社大学教授）

第4回 銀行の役割

われわれの生活に密接に関係する銀行が果たしている金融仲介機能について、解説する。とくに銀行貸出において、どのような問題点があり、銀行がどのように克服しているのかを通じて、銀行の機能を細かく分類する。銀行中心の金融システムの問題点も指摘する。

メディア	テレビ
放送時間	2026年度 [第1学期] (金曜) 03:00～03:45
単位認定試験提出方法	Web
単位認定試験期間	2026/07/14 09:00 ～ 2026/07/22 17:00
学習センター試験日／時間	2026/07/17 5時限 (15:15～16:05)
学部・院	教養学部
科目区分	('24カリ) コース科目 専門科目 社会と産業
科目コード	1539728
ナンバリング	310
単位数	2単位
単位認定試験平均点	
インターネット配信	あり
改訂回	なし
改訂内容	
履修制限	金融と社会('20)の単位修得者は履修不可

【キーワード】

金融仲介機能、情報の非対称性、専門化の利益、規模の経済性、情報生産、リスク分散、資産変換機能

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第5回 貨幣と支払・決済システム

貨幣の機能を整理し、支払・決済の仕組みを、銀行ネットワークや日本銀行との関係を通して解説する。銀行が果たしている支払決済機能の公共性を理解し、金融システムの健全性を保つことの重要性和そのための方策についても学ぶ。

【キーワード】

支払・決済、全銀システム、日銀ネット、日銀当座預金、決済リスク、システムック・リスク

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第6回 金融市場の役割

金融市場は、銀行などの金融機関とならんで重要な金融システムである。金融市場の機能を、まず理論的に考察した後、東京証券取引所の例を用いながら説明する。金融市場中心の金融システムの問題点も指摘する。

【キーワード】

情報の非対称性、価格発見機能、上場、情報開示、不確実性、分散投資

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第7回 日本銀行の役割

日本銀行の目的や機能を解説する。主な役割を学んだ後、金融政策の担い手として、どのような政策手段を使い、どのような波及経路で何に政策効果を与えようとしているのかを考察する。

【キーワード】

発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行、オペレーション、マネタリー・ベース、コールレート、マネーストック

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第8回 バブル期における銀行・金融市場・日本銀行

金融市場では、しばしばバブルが発生する。日本における代表的なバブルである1980年代後半を取り上げ、この時期の銀行、金融市場、日本銀行の動向を振り返り、バブルの背景、原因、結末などを整理する。

【キーワード】

バブル、大恐慌、ファンダメンタルズ、ブラザ合意、土地担保融資

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第9回 バブル崩壊後の日本の金融システム

バブル崩壊後にもたらされたのは、金融機関貸出の不良債権化であった。不良債権問題がどのように深刻化していったかの経緯をたどり、それが解消に向かうまでの日本の金融システムの混乱と繰り出された金融システム改革を振り返る。

【キーワード】

不良債権、金融制度改革法、日本版金融ビッグバン、整理回収機構、金融庁

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第10回 投資信託の役割

少子高齢社会において重要性が増している投資信託を取り上げる。投資信託の基本的な仕組みを学び、内容・特徴・注意点を解説する。NISAの創設などにより、その重要性は増すことが予想されており、近年の動向にもふれる。

【キーワード】

市場型間接金融、証券投資信託、金融のアンバンドリング、金融商品取引法、NISA(少額投資非課税制度)、目論見書、スチュワードシップ・コード

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第11回 証券化商品とサブプライムローン問題

新しい金融商品として証券化技術を駆使したものも増えている。証券化の仕組みと、それによって投資対象となった代表的な商品の特徴を学ぶ。また、複雑化した金融の仕組みが新たな問題を生み出していることを、サブプライム問題を通して知る。

【キーワード】

市場型間接金融、資産担保証券、MBS、REIT、サブプライムローン、格付機関、CDS

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)
放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第12回 デフレと非伝統的金融政策

日本では、バブル崩壊後の景気低迷とデフレに対して、ゼロ金利政策、量的金融緩和政策がとられた。欧米諸国でも、リーマンショック後に非伝統的な金融財政政策がとられた。それらの政策の内容とねらい、効果などについて解説する。

【キーワード】
ゼロ金利政策、量的緩和政策、信用緩和政策、ブルーデンス政策

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)
放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第13回 金融再編とフィンテック

金融機関の合併再編は、バブル崩壊後に急速に進み、都市銀行は少数のメガバンクに集約された。近年はフィンテックによって、金融業以外の企業との再編も始まった。金融再編の経過と背景をさぐり、銀行のビジネスモデルの変化と今後について考察する。

【キーワード】
金融持株会社、メガバンク、フィンテック、AI、ビッグデータ

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)
放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第14回 中小企業金融と地域金融

日本の企業の99%以上を占める中小企業は、事業継続がやっとなで承継問題に悩む企業も多い。地域金融機関と中小企業の貸出関係にどのような変化が生まれているのか、リレーションシップバンキングや国の政策の変化とも関連づけながら考える。

【キーワード】
開業・廃業、日本政策金融公庫、信用保証協会、競争組織金融機関、リレバン、事業再生、中小企業金融円滑化法

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)
放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

第15回 金融・財政の持続可能性と経済社会

日本の金融政策は、形を変えながら金融緩和を続け、アベノミクス以後さらに強化された。財政と金融とは密接に関係しており、他国の動向もみながら、日本の金融政策や財政政策の持続可能性を考える。

【キーワード】
マイナス金利政策、長短金利操作、出口戦略、財政ファイナンス、社会保障

執筆担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)
放送担当講師名:野間 敏克(同志社大学教授)

◀ 戻る

このページの先頭へ ▲